

## 九州大学経営協議会議事録

日 時：令和4年3月24日（木）13：00～14：00

場 所：椎木講堂大会議室を中心に web 会議により開催

出席者：28名中21名出席

### 【審議事項等】

- 1 役職員の給与の支給基準の改定（期末手当等の支給割合の引下げ）について  
役職員の給与の支給基準の改定（期末手当等の支給割合の引下げ）について説明があり、審議の結果、これを議決した。
  
- 2 国立大学法人九州大学会計規則の改正について  
国立大学法人九州大学会計規則の改正について説明があり、審議の結果、これを議決した。  
なお、以下のような意見交換があった。
  - ・出資範囲について、条件等のルール作りはなされているのか。  
→制度としては既に整備されているが、緩和措置による出資の拡大について、本学においても対応していきたいと考えている。
  
- 3 令和4年度予算等について  
令和4年度予算等について説明があり、審議の結果、これを議決した。  
なお、以下のような意見交換があった。
  - ・附属病院収入が16億円減っているが、これはコロナの影響か。  
→新型コロナウイルス感染症による診療収入の減少を見込んでいる。令和3年度の予算はコロナ前の令和元年度の実績を元としているため、前年と対比すると大幅な減少となる。
  - ・総長裁量経費という項目があるが、具体的にはどのような事業に使われるのか。  
→指定国立大学法人に指定され、例えば未来社会デザイン統括本部等新たな部署を作るためには様々な経費が必要となるため、このようなところに総長のリーダーシップで経費が配分される。

### 【その他】

- ・役員等について  
令和4年4月1日からの役員の体制について報告があった。
  
- ・九州大学創立111周年記念 VISION EXPO について  
九州大学創立111周年記念 VISION EXPO について説明があった後、以下のような意見交換があった。
  - ・国の政策でも、大学の知識を活用し、社会の変革につなげたいという話があることを考えると、ターゲットを絞った広報戦略をきちんと作っていく必要がある。  
→より詳細な広報戦略については、今後一つ一つのイベントに合わせて、どういった方法が良いか具体的に考え、学外に発信できるような形を意識していきたい。
  - ・111周年ということであるが、なぜ111周年なのか。111周年でこのような盛り上げをするのは大変良いことなので、ぜひ、同窓生への周知を強くお願いしたい。東

京同窓会ではすでに九大フィルの東京講演について全面的に協力する体制を整えてきたところであり、同窓生を巻き込んで色んなイベントを実施して頂きたい。

→同窓生への周知はぜひ力を入れていきたい。

なぜ 111 周年かというと、100 周年の時は東日本大震災でイベントを中止せざるを得なかった。また、110 周年はコロナでイベント等が出来なかったため、111 周年となった。新しい執行部の様々な取り組みを発表するという意味もある。

- ・オンラインとリアルと様々なところで様々なことが催されるようであるが、どのような形で開催されるのか。

→オープンキャンパスについては、今年はオンラインでせざるを得ないが、サイエンスカフェやコンサート、大学院生によるピッチイベントはハイブリッドになるかもしれない。状況が許す限りにおいて最適な方法で行いたいと考えている。

- ・「民」との交流については、地域の方も自由に入れて九大の 2030 のビジョンが見えてくる形になるのか、それとも、学术界や企業の方が見る形になるのか。

→特定のターゲットに絞るのではなく、社会の様々なレベルに向けて発信しようということで、研究者に向けたもの、市民に向けたものや、企業に向けたものもある。

- ・令和 3 事業年度財務諸表の書面審議について

令和 3 事業年度の財務諸表について、文部科学大臣への提出期限が例年より早く、次回開催の本会議での審議では間に合わないため、書面にて審議いただく予定である旨の説明があった。

- ・次回の経営協議会は令和 4 年 6 月 23 日（木）に開催予定である旨の案内があった。

( 以 上 )